

2026/6/19時点 計47団体		
団体名	ホームページ等	具体的な活動内容
社会福祉法人やず	https://swc-yazu.studio.site/	具体的な事業の開始に向けて、法人連携を呼び掛けている。智頭町の不登校支援を行っている一般社団法人つむぐるに通っている子どもたちの作品展示コーナーを特養すこやか内に設けている。令和8年6月より、社会福祉法人愛光会と協働して、子育て支援、女性支援の取組みを開始予定。
こころの声サポートの会		対象：西部に在住・在勤・在学し、悩みや不安を抱える方、または地域コミュニティ 頻度：月に1回から2回程度、定期開催を予定（その他、要請に応じた不定期活動を実施） 内容：（米子市ボランティアセンター登録）産業カウンセラー等の専門資格者による心理的支援を実施しています。孤独・孤立対策推進法に基づき、地域住民の孤独感の解消や孤立の未然防止を目的とした、専門的な傾聴・伴走型相談支援およびメンタルヘルス啓発活動を行います。
特定非営利活動法人アプローズ		鳥取市内にて障害福祉サービスによる日中活動、相談事業等を実施している。令和7年より、おしゃべりサロンをピアサポーターと月1回実施している。
不登校児童生徒、ひきこもり青少年の親の会「つながろう会」	https://tunagaroukai.jimdofree.com/	西部にて、不登校などの20歳未満の当事者と家族を対象にした「子どもの部」、ひきこもりなどの20歳以上の当事者と家族を対象にした「大人の部」の例会を毎月開催。講演会やSNSによる情報発信。必要であれば他の関連機関とも連携する。
鳥取行政監視行政相談センター	https://www.soumu.go.jp/kanku/chugoku/tottori.html	総務省の行政相談は、役所の仕事や手続、サービスに関するお困りごとについて、ご相談いただけます。国の行政などへの苦情や意見、要望を受け付け、担当行政機関とは異なる立場から、その解決や実現を促進するとともに、行政の制度や運営の改善に活かす仕組みです。 ・行政相談センターさくみみ鳥取 電話：0857-24-5542
社会福祉法人智頭町社会福祉協議会	https://chizushakyo.jp/	地域住民をはじめ、民生委員・児童委員、社会福祉法人・福祉施設等の社会福祉関係者、保健・医療・教育など関係機関の参加・協力のもと、地域の人びとが住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現に向けて、さまざまな活動を行っています。 ・地域福祉活動、見守り、支えあい活動の推進の推進（ふれあいサロン、ミニデイ、地区社協による配食サービス、防災福祉マップ作成支援、愛の輪推進員運動、福祉委員の設置 等） ・権利擁護センター活動（生活困窮者の方や理解力・判断力が不十分な方、自信が無い方に対する総合相談と伴走支援、成年後見事業、食のささえあい、生活福祉資金貸付等）
特定非営利活動法人リカバリーポイント	https://tottoridarc.com/	依存症により精神障害者となった者に対し、当事者であるスタッフが、身体的、精神的、社会的な援助を行うと共に依存症からの回復プログラムを提供し、将来の自立に向けて、依存に頼らない生き方を身につける手助けを行う。回復期間が伸びた者については就労支援も行っている。
Warmeyes		発達障害や精神障害をもつ家族を支える立場だからできる「親なき後のガイドブックをつくる会」です。 毎月第三金曜日 10～12時 米子市福祉保健総合センター1階にて障がい者活動室で定例会を行なっています。
社会福祉法人八頭町社会福祉協議会	https://www.yazu.syakyo.or.jp	○誰もが安心して生活できる地域共生社会の構築をめざして、多様な団体と連携した事業の実施やネットワークづくり、まちづくり委員会の活動支援、福祉人材の育成を推進している。 ○八頭町福祉相談支援センター「ほっと」を相談窓口として、無族万歩（むぞくばんぽ）をスローガンとして、相談者が抱えている様々な生活課題に対して、一緒に考え、一歩ずつ進んでいく支援を行っています。 社会とのつながりが希薄な方が社会とのつながりを回復するために、本人のニーズと社会資源との間を取り持つ事業展開に取り組んでいる。（ほっと×DOGプロジェクト、ほっとファーム、ほっと×とどろきプロジェクト）
鳥取県高次脳機能障害者家族会	■ インスタグラム ユーザーネーム： @koujinoukinou_kazoku https://www.instagram.com/koujinoukinou_kazoku/p/DCEmy72vn8s/ ■koujlnou-kazokuのブログ https://ameblo.jp/koujlnou-kazoku/ ■鳥取県高次脳機能障害者家族会/とりネット/ 鳥取県公式サイト https://www.pref.tottori.lg.jp/97281.htm	・高次脳機能障害当事者および家族支援 ・2ヶ月に1回の会合 米子市「ふれあいの里」、琴浦町のJR八橋駅構内 ・1ヶ月に1回の会合 鳥取市「さわやか会館」にて当事者および家族がお互いの近況を共有。 ・インスタグラム、ブログにて情報共有 ・会の代表による各種会合、研修への参加 ・社会福祉士（介護支援専門員・相談支援専門員）による権利擁護に関する研修講師、成年後見制度に関わる相談
～対話と学びとつながりと～どんぐりの森		・学校に行きづらい子どもの親たちの話し場の提供「どんぐりCAFE」（毎月第3日曜日） ・対話と学ぶ会の開催「森の種」（毎月第2金曜日） ※カッコ内は令和7年度スケジュール
住民活動支援ネット（ほっとちょこっとcafé）		週5日どなたでも利用できる居場所としてcaféを開いており、月に2回、地域食堂も開いている。
一般社団法人外国人ライフサポートnicotto	■ インスタグラム ユーザーネーム： @nobunobu-eigo	・日本語カフェ、英語カフェ（月1回） ・やさしい日本語の普及 ・在住外国人・日本人の交流の場 ※詳細はインスタでご確認ください。
社会福祉法人大山町社会福祉協議会	https://daisensyakyo.org/	・町民から協力を得て「フードパートナー事業」を実施。 ・属性を問わない総合相談、就労準備支援、子どもの学習支援 ・障がい児者の計画相談支援

Mnetグループ		西部にて、子ども食堂を開催しています(原則平日の16:00～19:00)。会場は主に、つながる食堂「コネクト米子」(米子市)。食事の提供や、自習室にて勉強や読書もできる、子どもの居場所づくりの場を提供しています。
社会福祉法人米子市社会福祉協議会	https://yonago-syakyo.sakura.ne.jp/	生活困窮自立支援事業を実施し、相談業務、家計改善支援、住居確保給付金事業、生活福祉資金貸付事業等を実施。 東山地域包括支援センターを運営し、総合相談業務、介護予防ケアマネジメント等を実施。 在宅福祉員による高齢者世帯の見守り活動を実施。地域で気軽に集える場の「ふれあい・いききサロン」活動の推進。 会員相互に育児の援助活動を行う、ファミリーサポートセンター事業の運営。
発達障がい家族ネット		発達障がいの特性のある人の家族と支援者の交流の場です。何より大切にしているのは、家族同士のピアカウンセリングです。毎月第4月曜日11時から15時に米子市ふれあいの里4階で月例会をしています。
NPO法人明るい生活		文化芸術事業の企画立案と運営を行っています。
困り感を抱える子を支援する親の会／らっきょうの花	https://blog.canpan.info/rakkyou87/	鳥取市東部にて、毎月、参加無料の『おしゃべりカフェ』を開催。 会長個人は、電話番号を公開している関係から、多方面からの救援や相談を聴き、必要であれば、当事者の許可を得た上で、各関係機関に繋げている。
一般社団法人鳥取県再犯抑止更生協会	https://www.t-saihanyokushi.com/	1、鳥取刑務所において、月に2回、出所者に対する講習会を行っている。 2、講演会を開催するなど、再犯防止の取り組みについての啓発活動を行っている。
一般社団法人成年後見ネットワーク倉吉	https://kurayoshi-seinenkouken.jp/	中部地区にて、高齢者、障がい者等を対象に、権利擁護事業を実施している。
フリースクール・S	https://sakajuku.jp/pages/108/	2016年より中部にフリースクールを開校(平日10:00～15:00)。 小学校・中学校に行きづらい子どもたちへの居場所づくり、学習支援、体験学習の場を提供。 保護者相談も受付中。
社会福祉法人養和会	https://www.yowakai.com/aboutus/company2	・障害福祉サービス事業 ・米子市後藤ヶ丘・加茂包括支援センターのエリアで社会福祉法人を中心に地域課題の解決に向けた地域包括ケア連絡会を月一回実施し、地域住民向けなんでも相談ダイヤルを実施。 ・米子市の重層的支援体制整備事業アウトリーチ事業への協力 ・米子市内でのスクールソーシャルワーカー派遣
元気になる会の会(不登校や学校が苦手な子と親が集う会)		不登校や学校が苦手な子どもたちと保護者の集まりです。 2017年5月から活動を開始。現在は下記の会を定期的に開催しています。 1.「おしゃべりの夜」第4土曜日 19:30から21:30頃まで 2.「おしゃべりの昼」毎週火曜日 10:00から15:00まで 3.「父のつどい」不定期(月一回程度)19:00から21:00頃まで
地域支え合い米子 居い場所 田園		不登校・ひきこもり・発達障害・要介護状態などの方を日々支える「家族会」「親の会」などのピアサポートを大切にし、団体・個人の賛同者と一緒に活動しているボランティア団体です。 ひきこもりなど社会的孤立状態にある方やそのおそれのある方、ご家族のために2023年4月から毎日開所。 2023年7月～2025年3月までは米子市居場所づくり事業の委託(モデル事業)を受けて活動しています。
フリースクールきょういく	https://www.kyouikutokoro.com	不登校もしくは潜在的な不登校(別室登校をしていたり、遅刻や早期帰宅を繰り返すなど、登校が困難である状態)である小学1年生～中学3年生の子どもたちを対象として、フリースクールを開校している。米子市・米子駅近くで、ICT教材を用いた学習支援や、子ども主体の体験活動支援、コミュニケーション支援、保護者に向けた情報提供及び相談支援等を実施し、子どもたちの社会的自立を目指している。
株式会社Tri-Arrow	https://t-arrow.co.jp/	弊社は、孤独孤立対策推進法に基づき、高齢者や単身者向け見守りサービス「LINEでみまもるらいみー」を提供。LINEを活用した安否確認機能や行政連携、動画配信や交流サロンなどの付加機能を通じ、孤独死や孤立感の軽減に取り組んでいる。緊急時には地域包括支援センター等と連携し、適切な対応を実現。設備設置不要の利便性と柔軟な対応により、家族がいない方も利用可能。超高齢社会における安心と支援を提供している。
株式会社コモングラウンド		ペット共生型障がい者グループホームを運営し、ハウジングファーストの考えを持って行動し、精神障がい者、知的障がい者の住居確保、生活の質の向上につながる支援などを行っています。

Tottori Mama's	http://tottori-mamas.com/	私たちの活動で虐待・DVのない社会へ繋げることを目的とし活動しています。主には産前産後、子育て世代の女性の孤立防止のための女性同士が繋がる場をイベントを通して実施(ハイハイレース、毎月実施OPENDAY等)、またLINE公式で相談も受付ています。
特定非営利活動法人西部ろうあ仲間サロン会	https://www.nakama-saron.com/	主には聴覚障がいのある方を対象とした事業を実施していますが、今年度より、米子市地域活動支援センターの運営を行い、障がいの有無に関わらず地域住民の方々にも立ち寄っていただける施設運営を目指しています。(食堂、カフェ、まちの保健室等)
夢現の風	https://www.facebook.com/mugenkaze848	活動拠点「おりづるハウス きないや」で、毎週水曜日に～SDGs折り鶴でつながる絆～をモットーに、認知症予防体操、DVD視聴、脳トレパズルなどをおして介護予防活動並びに引きこもり対応や特殊詐欺予防啓蒙活動などを行い福祉力向上を行っています。
鳥取県公共図書館協議会		県内市町村立図書館及び県立図書館で組織する任意団体。経済的困窮や社会からの孤立、ひきこもり等の問題でお悩みの家庭(サポートの必要な家庭)を応援するため、有用な情報や資料の提供、図書館を居場所として活用していただく取組を進めている。
産前産後ケアハウスはぐはぐ合同会社	https://www.hughug-babymama.com/	助産師と保育士が常駐している0歳児を育てる母親やその家族のための居場所。予約なしで利用可能なラウンジはコミュニティの場となっており、妊産婦同士の仲間づくりも担う。妊娠期から利用でき、困ったときの相談窓口としての役目も持つ。市町村委託産後ケア事業や0歳児の一時預かりの実施。
米子フリースクール	http://www8.plala.or.jp/yfs0401/	もともとフリースクールを運営していますので、カウンセリング、学習支援、居場所づくり、そして家庭訪問や電話相談等行っています。 問題は社会とつながっていない子どもたちです。ひきこもりの人やヤングケアラーの人たちにも長期的視野にたって接する必要がある、諦めず訪問・来校(外出)を勧める等をするのが第一歩だと考え、これらの人の一助になれることを願っています。
特定非営利活動法人 人と動物の共生センター	https://human-animal.jp/	孤独・孤立によりつながりが乏しいことで、動物に安息を求め、動物を集めてしまったり、繁殖制限を行わないと増えてしまうことを知らずに、気づいたらお世話が出来ない状態に発展してしまう(多頭飼育崩壊)ことがあります。解決には動物だけではなく、孤独に寄り添う支援をし、まず人を支え動物を適切に飼育できる環境を作る必要があります。当団体では行政や社会福祉関係の支援者や要支援者本人から相談を受けつけ、それぞれの問題解決のための支援を行っています。
特定非営利活動法人ピアサポートつむぎ	https://sites.google.com/view/npo-tsumugi/	不登校やひきこもり、発達障害等の困り感を抱える子どもや若者、その家族や支援者等に対して、当事者の視点に立って、当事者が安心できる居場所づくりと相談支援を行い、併せて、地域の理解を促進するための啓発活動や、居場所の機能を活かした情報交換や学びの活動等を実施することで、困り感のある子どもや若者とその家族が孤立することなく、地域で安心して生活できる社会の実現に寄与することを目的として活動しています。
社会福祉法人倉吉市社会福祉協議会	https://www.kurayoshishakyo.com/	■活動分野・生活困窮者への自立支援、複雑化・複合化した課題を抱える世帯への支援(ひきこもり、8050問題、ヤングケアラー他) 、地域における支え合い活動 ■具体的な活動内容 ・社協独自の「倉吉くらしの応援団事業」による生活困窮世帯への食料支援、制服リユース、リクルートスーツの貸出、ひきこもりがちな方の居場所「まいペース」 ・孤独・孤立しないための地域における見守りや交流会等の活動支援
鳥取県精神障害者家族会連合会		鳥取県内の精神障がい者家族会(地域家族会)の連合体として主に以下の活動をしています。 精神保健福祉向上のための要望活動、精神保健福祉に関する研修会の開催、広報啓発活動、精神障がい者家族等のための電話相談、家族及び家族会支援活動
いき○研究会		ひきこもりを抱えた人をはじめ、誰にとっても生きやすい地域社会とはどのようなコミュニティかを研究・実践している。調査結果をもとにイベントを開催したり、つながりのためのプラットフォームづくりについていろんな人と連帯しながら挑戦している。
鳥取医療生活協同組合	https://www.mcoop-tottori.jp/	東部において、年に数回、生活困窮者対象に食料配布、配達活動、その後の伴走型支援を行っている。また、地域組合員が、年間約1300回、たまり場活動、フレイル予報教室、認知症予防教室はじめ、つながりづくり、健康づくり活動を展開。鳥取市官民連携孤独孤立対策プラットホームにも入会し、「つながりサポーター」養成にも取り組んでいる。
TRIGGER株式会社		eスポーツ関連の事業を仕事とした障がい者就労継続B型事業所『わんだふる』を運営しております。現在、今までどの事業所へ通うことができなかった方が、ご家族と一緒にではありますが月に2回程度通所することができるようになっています。まず自宅からでれる最初の1歩のきっかけとなる事業所だと思っています。

合同会社あいいろ		倉吉にて訪問介護、通所介護を運営しています。
医療福祉センター倉吉病院	https://www.med-wel.jp/kurabyou/	精神科医療機関として自死対策（SNS相談・電話相談）メンタルヘルス対策・ひきこもり支援等幅広く取り組んでいます。
一般社団法人 ひだまり	https://www.tottorikodomogakuen.or.jp	社会的養護経験者等の孤立を防ぎ、相談支援、生活支援、就労支援、自助グループ活動を行っている。
一般社団法人みもぎの会		鳥取県西部を中心に、DV被害者、要保護女子等の保護・自立を目的として20年以上活動を継続している。居場所づくり、フードバンクと連携して、食支援、就労支援、生活支援、見守り支援等行っている。居住支援法人（鳥取県第4号）に登録し、居住支援でも活動を継続中。
NPO法人あかり広場		西部にて障がい福祉サービスの地域活動を通じひきこもりの人の居場所づくりを行っている
特定非営利活動法人はるひな	https://www.haruhina.net/	東部圏域にて、就労継続支援B型・共同生活援助・地域密着型通所介護・住宅型有料老人ホーム・生活困窮者等子ども学習支援・基幹相談支援センター・一般特定相談・成年後見制度法人後見の事業を行っています。